

# 進路だより

都立永福学園 肢体不自由教育部門

令和6年3月21日 発行

校長 緒方 直彦

No.6 文責 宮崎 卓矢

日頃から本校の教育に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

## ○高2進路実習報告会を行いました（3月1日）

中学部3年生と高等部の生徒を対象に「高2進路活動報告会」を実施しました。今年も新宿養護学校の中学部3年生が来校し、見学しました。

現場実習に行った高等部2年生が、実習先での活動や目標を振り返り、学校とは違う環境の中、頑張ったことを堂々と発表しました。目標には、「あいさつ」「楽しむ」「伝える」「自分から」などの言葉が多くあり、発表を聞く生徒も、それぞれの発表内容に注目しよく聞いていました。生徒の目標について少し紹介します。



### <実習に向けた目標>

個人の力に関するもの

- 体調を整えて元気に実習する
- 給食をたくさん食べる
- 活動を楽しむ
- 真剣に取り組む
- できることは自分でする



### <報告会の様子>

ひとやものとのつながりに関するもの

- 言葉で伝える
- いろいろな人と話す

高等部2年生が、実際に目標とした事柄をキャリアポイント一覧表に合わせて整理しました（左）。

御覧のとおり内容には特別なものではありません。小学部でも中学部でも高等部でも、同じようなことが大切だということが分かります。就労希望でも実は同じです。

違いは、学校とは違う環境で力を発揮する点です。そのためには、毎日の小さな努力や経験を積み重ねて確かな実力をつけることで、実習でも力を発揮でき自信になります。すると様々な人・環境の中で豊かに過ごしたり成長したりできるようになり、徐々に精神的に自立していきます。

社会とのつながりに関するもの

- みなさんと仲良く過ごす
- 時間を守る、ルールを守る
- 目を見て話す
- 自分から挨拶する
- できないことは依頼する

学校時代は社会へ出る準備の期間です。高等部での進路学習では体験・実習を軸に実社会での経験を重ねますので、小学部や中学部などの時期から、左の目標を参考に、様々な経験を重ねて、「いつでも、どこでも、だれとでも」できることを増やしていきましょう。



## ○高等部3年生の進路状況について

高等部3年生は、それぞれの進路活動を積み重ね、全員が進路を決定できました。これまでの経験を糧に、新しい出会いを大切に、社会人としてさらに活躍していきましょう！

進路先の施設名	事業体系等
社会福祉法人三育ライフ シャローム上井草さくら	生活介護
社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 中野区障害者福祉会館	
社会福祉法人新宿区障害者福祉協会 新宿区立あゆみの家	
公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団 ワークサポート杉並	就労移行支援
東京未来大学	大学
東京福祉大学通信教育課程	



3月は1年のまとめの月。この1年の学びや経験、そして成長はいかがだったでしょうか。小さな成長、大きな成長様々だと思いますが、一步一步地道な歩みを重ねていくことが大切です。また、18歳には成人となることを踏まえ、精神的な成長も大切となります。学年・ライフステージの変わり目を機会に、御家庭での接し方を改めて考えてみるのも良いかもしれません。

先日、学校外のある会議の中で、「誰もが参加しやすいまつり」について考える機会がありました。企画段階からの障害者の参加、踊りやすい踊り、静かな休憩室、列の最後尾が分かりやすいなど、様々なアイデアが示されました。その最後に、互いの状況を理解し建設的な対話大切です、とまとめの話がありました。

4月にはそれぞれ新たな出会いがあり、新たな生活がスタートします。期待とともに不安もあることと思います。子供（本人）を中心に、関係者が共に手を取り応援していけるよう、コミュニケーションを大切にいきましょう。子供（本人）を取り巻く応援団を作り育てていくことが将来の支えとなります。

昨年度も本通信で書いていますが、障害がある当事者の子どもたちや御家族のアクションは、誰もが暮らしやすい社会を作るための大きな力となります。コロナ禍が過ぎ、地域活動やお買い物など外出しやすい状況となりました。多くの人から「見える存在」として、本人を取り巻く生活の状況を発信し、子どもたちも社会の一員として、誰もが暮らしやすい社会を積極的につくってほしいと思います。

一年間ありがとうございました。

